

令和6年度 杜の都のエコ・スクール活動報告書

学校番号	116	学校名	仙台市立南吉成小学校	校長名	黒川 利香
------	-----	-----	------------	-----	-------

1, 取組のテーマ, タイトル

南吉エコ活動

(エコフェスティバル・全校奉仕の日・環境美化委員会の取組)



2, 取組の紹介

○エコフェスティバル (児童会行事)

児童会行事のエコフェスティバルが7月12日に開催されました。3年生以上の各学級が、グループに分かれてお店を開き、全校皆で楽しむ本校伝統のお祭りです。ゴミを出さないように、リサイクルできる材料を使ってお店を作ることを意識してきたので、児童の「エコ」の意識も高まってきました。どの学級も、段ボールやペットボトルなど身近な材料を使って楽しめるお店を一生懸命考えていました。その成果もあり、当日は、全校児童が生き生きとした様子で活動に参加していました。



○全校奉仕の日 (落ち葉集め・除草作業)

11月初旬に、全校奉仕の活動として、全校児童が、校地内の落ち葉集めや除草作業、ごみ集めをしました。学年ごとに、学年花壇やその周辺、池周り、全校花壇、校庭周り、学校門周辺などを分担して活動に取り組みました。どの学年も積極的に取り組みました。



○環境美化委員会の取組

学校花壇に、その時期に合った花を植える活動を行いました。花壇の手入れ、お世話を行うことで、植物を大切にする気持ちが芽生えていました。誰が見ても分かるように、その花はどんな花なのかを説明する看板を作るなどの工夫をする様子が見られました。



3 取組の成果 (児童生徒の変容)

エコフェスティバルでは、低学年の児童が、いつも捨ててしまう物や身近な物を使って楽しく遊ぶことができるという気付きを得ることができました。このことから、お店を出す側の意図がきちんと伝わっていることが分かりました。エコの伝統が高学年から低学年へとしっかり引き継がれていました。また、エコフェスティバルを経て、児童の遊び道具への意識の変容も見られました。

全校奉仕の日の取組では、大量に集まった落ち葉や草、ごみを見て、充実感を得ている児童が多く見られました。活動後は、「普段から学校をきれいに使っていきたい」という感想を持つ児童が多く、校舎内外問わず、掃除やごみ拾いを進んで行う児童が見られました。

環境美化委員会の取組では、花が植え変わるごとに、花壇の前に立ち止まって、花を楽しむ児童がたくさんいました。委員会児童だけではなく、全校児童が植物に関心を持つ機会が多くありました。